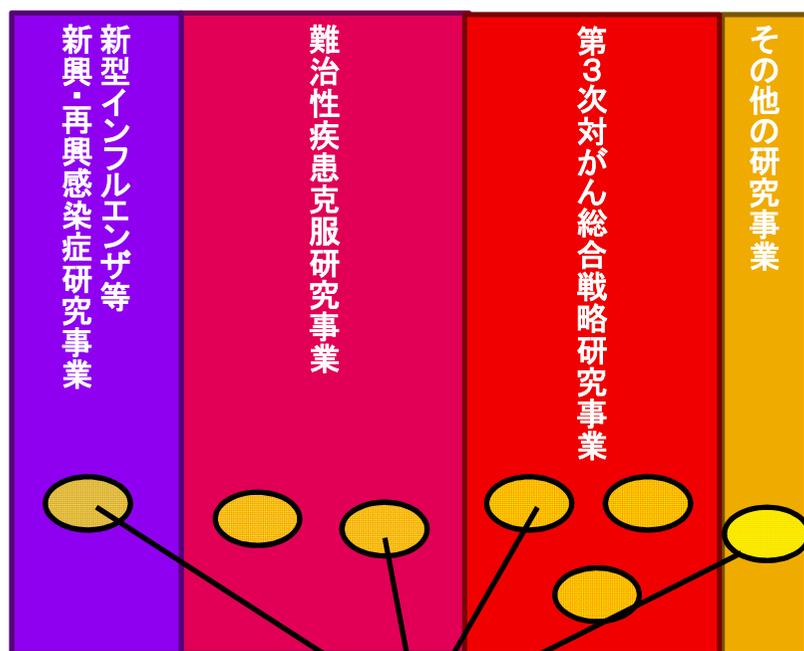


**HTLV-1関連疾患研究領域研究の3年間の成果
(渡邊俊樹)**

HTLV-1 (ヒトT細胞白血病ウイルス1型) 関連疾患研究領域

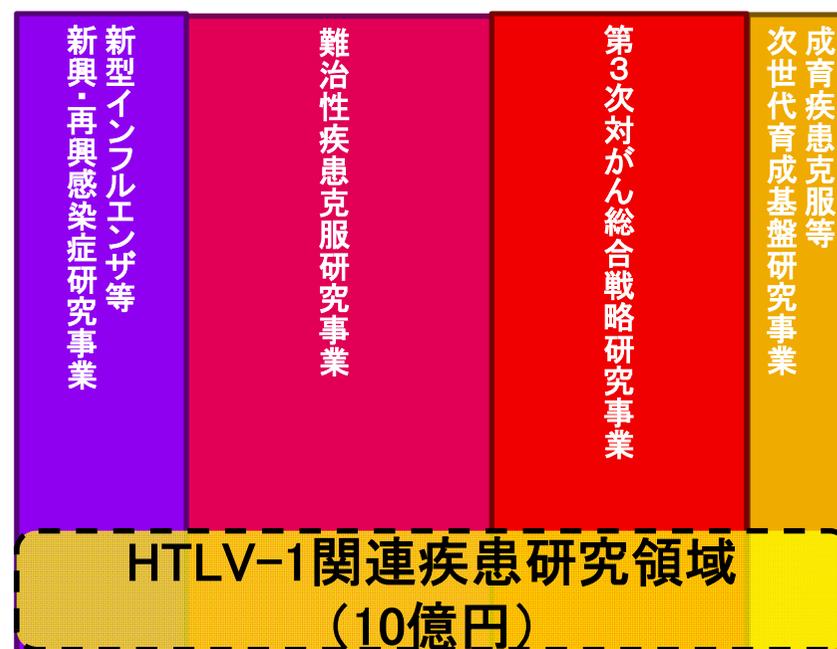
- ◆ HTLV-1関連疾患に対して戦略的に研究を行い、総合的な対策に寄与するため、疫学的な実態把握、病態解明、発症の予防、新規医薬品の開発、診断・治療法の開発・確立等にわたる研究を行うため、HTLV-1関連疾患研究領域を設置。
- ◆ 平成23年11～12月に、当該研究領域としての一体的な公募要項により研究課題の公募を実施。
公募期間: 平成23年11月24日から12月20日

H22年度までの体制



各研究事業の中で採択された場合に
HTLV-1関連の研究を実施

H23年度からの体制

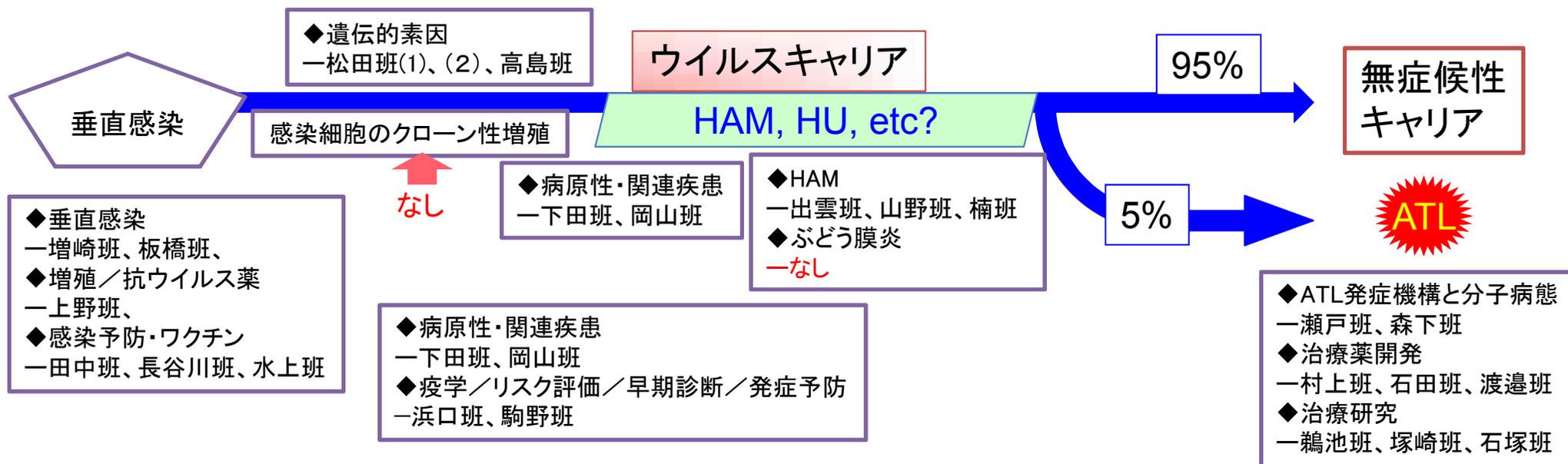


※ 厚生労働省作成資料

「HTLV-1関連疾患研究領域」枠で採択された課題 および関連研究課題数

研究事業	研究課題数		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究	5	7	7
難治性疾患克服研究	6	6	5
難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業 (難病関係研究分野)	2	2	2
第3次対がん総合戦略研究	5	5	5
がん臨床研究	6	5	5
成育疾患克服等次世代育成基盤研究	1	1	1
計	25	26	25

HTLV-1総合対策による関連疾患研究領域の研究事業の配置



HTLV-1関連疾患研究領域の研究成果(H23-25)(1)

<実態把握>

- ATL, HAMの疫学調査
- 母子感染コホート研究
- 母乳以外の感染経路の探索
- 未知のHTLV-1関連疾患の探索
- HTLV-1感染による免疫病態修飾の検証

<感染予防・相談体制の整備>

- 母子感染予防指導マニュアルの作成
- 相談体制の実態調査と提言
- 啓発活動の実施と問題調査
- 情報発信Webの整備改修

<感染とその対策>

- 診断・検査法の開発
- HTLV-1の核酸検査法の検討
- ワクチン開発、抗ウイルス免疫グロブリン
- 感染動物モデル開発と応用

<病態の解明>

- 個体内感染細胞の同定と前癌病変の確認
- ATL/HAM発症に関与する遺伝子多型の解析
- HAMの早期診断/病態把握のbiomarkerの探索

<治療法の開発>

- ATLに対する新規治療法の開発
- ATLに対する治療法の検証
- HAMに対する新規治療法の開発
- 診療マニュアル/ガイドラインの作成

研究の成果

1. 母乳予防効果の確認と体制の整備
2. 新規感染経路の存在確認
3. 新規関連疾患の探索と他疾患への影響
4. ウイルス分子の機能理解の進捗
5. キャリアにおける炎症性疾患の病態修飾
6. 検査法の開発・標準化
7. 感染予防法開発の基盤整備の進捗
8. モデル動物の作成と薬効評価系の確立
9. 個体内の感染細胞同定法確立と前癌病変の同定と解析
10. HAMの新規治療法の治験開始
11. ATLの分子病態理解の進捗と治療法の検証進行

(詳細は後続スライド)

政策的課題

1. 相談体制の実態と問題点の把握
2. Webと指導マニュアルの作成・整備
3. 診療マニュアル/ガイドラインの作成
4. ATL臨床病型分類の検証と課題の確認
5. ATL診療体制の把握と問題点の整理
6. 研究進捗状況の年次および総合評価
7. 研究領域の活性化

(詳細は後続スライド)

HTLV-1関連疾患研究領域の研究成果(H23-25)(2)

代表的研究成果の詳細

ウイルス感染

25年の長期観察で母乳遮断の有効性確認、児のコホート研究体制の確立、カウンセリング対応体制整備の進捗。

垂直感染に匹敵する数の水平感染の可能性と、胎盤感染を示唆するデータが得られた。

PCR検査法の標準品の検証と確立、施設間補正の係数設定

ウイルス遺伝子の機能理解の進展(HTLV-1 HBZ機能解析の深化、Rexの新機能の発見)

ワクチン開発の基盤が整備され、単クローン抗体や抗HTLV-1ヒトイムノグロブリンの感染阻害効果を確認

免疫不全マウスを用いたヒト化マウスの感染実験系の確立、および、それを用いた薬効判定実験の実施

マルチカラーFACS解析で感染細胞集団を同定、非腫瘍化細胞とATL細胞を区別、前癌病変の存在を同定
次世代シーケンサーとTag-systemを利用した新規クローン解析系を開発

シェグレン症候群との関連の可能性が高まり、呼吸器疾患(喘息や気管支拡張症)等の可能性が浮上

HAMの免疫病態解析の進展と抗CCR4抗体を用いた治験の開始

ATL

ATL細胞における新たな分子異常の解明(シグナル伝達異常とmRNAスプライシング異常)

ボルテゾミブ有効性の検証進行中、AZT/IFNa治療法の検証開始、樹状細胞免疫療法の第I相試験開始

キャリア
関連疾患

HTLV-1関連疾患研究領域の研究成果(H23-25)(3)

政策的課題の成果

キャリア対応

相談窓口の実態調査を行い、保健所やがん拠点病院の対応が不十分であり、認知度の不足と専門家の不足・偏在が問題であることを明らかにした。

「HTLV-1情報サービス」Webサイトを整備し、各種の情報へのアクセスの窓口とした。

キャリア対応の標準化を目指し、「HTLV-1キャリア 相談支援(カウンセリング)に役立つQ&A集」を作成し、配布した。

診療実態

ATL診療ガイドラインを作成すると共に、皮膚科悪性腫瘍ガイドラインのATLの記載との調整を行った

ATL診療実態調査を行い、962症例を確認し診療内容の調査を行っている。

ATL臨床病型分類の検証と課題の確認を行い、特殊な皮膚病変を報告した

ATL診療体制の調査を行い、診療体制の実態を把握し問題点を明らかにした

実施体制

オブザーバー派遣・合同成果発表会の開催により、各研究班の進捗状況の把握と評価を行った。

国際及び国内のシンポジウムを開催し、国内外の研究進捗状況を把握した

研究会と市民公開講座を共催し、情報収集・評価と患者キャリアのニーズの把握。

HTLV-1関連疾患研究領域の研究課題

強化推進すべき研究課題

HTLV-1ウイルスの自然史の理解

- キャリア数の正確な把握: 地域住民調査
- 感染経路の解明: 水平感染と経胎盤感染
- ウイルス理解の充実と進展: 宿主細胞への影響

HTLV-1キャリアの自然史の理解

- 疫学・コホート研究の整備強化
- 新規HTLV-1関連疾患探索の強化
- 感染個体内のウイルス感染細胞の同定
- ウイルス感染の宿主個体への影響解析
- クローン性増殖の分子基盤解明
- 細胞浸潤の分子機構と標的特異性
- 前癌病変の同定
- ATLのプログレッションの分子基盤

HTLV-1関連疾患の予防・治療研究

- 感染・発症予防: ワクチン、免疫グロブリン、薬剤
- 新規治療法開発: 小分子化合物、抗体療法
- 薬剤耐性の分子基盤: 分子機構、「がん幹細胞」

政策的対応課題

- 情報発信の強化
- 相談体制の整備強化
- 診療体制の整備強化

期待される成果

1. HTLV-1に対する認知度を高め偏見を払拭
2. 感染拡大の予防
3. キャリアの積極的削減
4. 発症高危険群を規定する新規疾患概念の確立
5. 発症予防介入と早期治療
6. 新規治療法の開発
7. 研究開発活動の活性化

一般社団法人 日本HTLV-1学会

(平成25年11月登記)

学会の目的

HTLV-1のウイルス学とこのウイルスが原因となって発症する疾患(以下「HTLV-1関連疾患」)、及びこれらに関連する諸分野の研究と医療の開発を推進すると共に、HTLV-1及びHTLV-1関連疾患に関する知識の普及を図り、もって学術の発展および国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

学会の活動内容

- (1) HTLV-1及びHTLV-1関連疾患に関する研究の推進
- (2) 学術集会、講演会、研究会等の開催
- (3) 学会ニュースレターの刊行
- (4) HTLV-1及びHTLV-1関連疾患に関する研究の助成、奨励及び研究業績への表彰
- (5) 国内外の関連する学術団体その他諸団体との連絡及び協力
- (6) HTLV-1及びHTLV-1関連疾患に関する啓発・普及活動、情報発信
- (7) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

学術的意義



「HTLV-1感染とそれによる疾患」として統一的に把握する必要

包括的学術組織 = 「日本HTLV-1学会」

日本HTLV-1学会Web site
URL:http://htlv.umin.jp/

学術集会

第1回 学術集会

会長: 渡邊俊樹

日程: 平成26年8月23日(土)24日(日)

会場: 東京大学医科学研究所講堂
市民公開講座併催予定

第2回 学術集会

会長: 出雲周二

日程: 平成27年、詳細未定

会場: 東京大学医科学研究所講堂

学会共催イベント

日時: 平成26年5月24日 13:30-17:00

開催場所: 高新文化ホール

主催: 高知大学医学部

共催: 日本HTLV-1学会

日本HTLV-1学会
The Japanese Society of HTLV-1 and Associated Diseases (JSHAD)

トピックス

1. 本研究会は平成25年11月1日付けで一般社団法人日本HTLV-1学会として新たなスタートを切りました。(年明けにホームページも一新いたします。) 学会設立を記念して、日本HTLV-1学会設立記念シンポジウムを平成26年2月7日(金)15時から東京大学医科学研究所講堂(白金台)にて開催いたします。
ポスター
2. 平成25年度厚生労働科学研究費HTLV-1関連疾患研究領域研究班合同発表会
日時: 平成26年2月8日(土)9時30分~16時15分
場所: 東京大学医科学研究所附属病院棟8階トミーホール(白金台)
入場無料/来聴歓迎
ポスター
3. 第1回学術集会 [2014年8月23日(土)、24日(日) 東京大学医科学研究所 講堂]

更新履歴

2014.2.25 入会案内に一般・学生会員入会申込書を追加しました。
2014.2.6 理事長挨拶を追加しました。
2013.12.24 平成25年度厚生労働科学研究費HTLV-1関連疾患研究領域研究班合同発表会(平成26年2月8日(土))の案内を追加しました。
2013.11.1 本研究会は平成25年11月1日付けで一般社団法人日本HTLV-1学会として新たなスタートを切りました。
以前の研究会のサイト

ページの先頭へ

Copyright (C) 2014 The Japanese Society of HTLV-1 and Associated Diseases (JSHAD). All Rights Reserved.